



■北陸新幹線CAモルタル注入工事

金沢から敦賀まで延伸工事中の北陸新幹線ですが、レールを支えているコンクリート板（軌道スラブ）の下に平坦性を高め、高架橋床版との緩衝材の役割を果たす厚さ約5cmのCAモルタルを注入する工事を行っています。
普段は見かけることは無いと思いますが、鉄道・運輸機構と一緒に長年磨き上げた工法です。

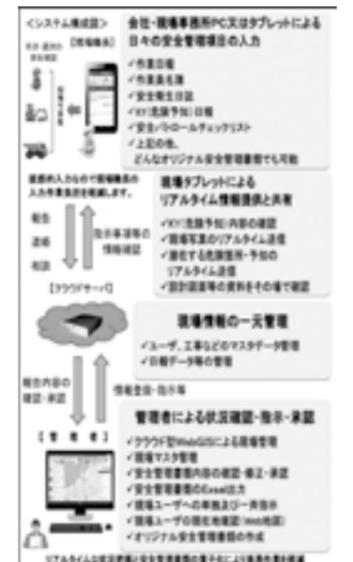
工事名：北陸新幹線（金沢～敦賀間 軌道敷設工事の一部区間）
発注者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構
施工者：下請負業者 東亜道路工業株式会社



ノンステージング工法と見学台▶P.15



石川県土木部河川課
柴田 浩司さん▶P.17



日々の現場安全管理支援クラウド
（モスダッド）▶P.19

視点

- 1 高速道路の機能強化と安全性向上
■NEXCO中日本 金沢支社 総務企画部長 山本 周一

技術レポート

- 3 滑川漁港の機能強化整備について
■富山県新川土木センター
- 5 阿賀野バイパス百津跨道橋下部工事
建設現場の役割における環境への取り組み
■(株)加賀田組 新潟支店
- 7 H30（主）佐渡一周線東海岸道路（原黒工区）舗装工事
離島の舗装工事におけるICT活用について
■本間道路(株) 佐渡営業所



シリーズ 現場技術者の「知得」

- 9 2020年度 北陸地方整備局の
工事・業務の円滑な実施について
■北陸地方整備局 企画部 技術管理課
- 13 新潟県の総合評価落札方式について
■新潟県 土木部 技術管理課



根固ブロックの据付状況▶P.3



余盛りコンクリート引抜状況▶P.5



工事見学会（令和元年7月撮影）▶P.7

職場紹介

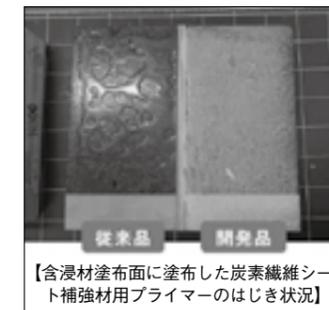
- 15 安全・安心な地域社会のために
私達は、人を大切にし、技術で貢献いたします
■(株)林土木

先輩なう!

- 17 より良い「新しい地図」を目指して～石川県の未来～
■石川県土木部河川課 柴田 浩司さん

新技術情報

- 19 ■Made in 新潟 新技術普及・活用制度
- ・塩害を受けたコンクリート構造物の補修・補強工法
（ハイブリッド・塩害補強工法）
【登録番号：2019D102】 (株)レックス
 - ・日々の現場安全管理支援クラウド（モスダッド）
【登録番号：2019D201】 (株)桑原測量社



【含浸材塗布面に塗布した炭素繊維シート補強材用プライマーのはじき状況】
塩害を受けたコンクリート
構造物の補修・補強工法
（ハイブリッド・塩害補強工法）▶P.19



「i-Construction（アイ・コンストラクション）」とは？

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction（アイ・コンストラクション）」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp